

# 平成27年度全国学力学習状況調査

## 調査結果の概要について

～ 帯広市立大正小学校における調査結果 ～

平成27年4月21日に実施された本調査の結果についてお知らせします。

調査結果については次の点に留意してお読み下さい。

- 本調査の結果については児童が身につけるべき学力の一部であり、本校の教育活動の一側面を表すものです。
- 平均正答率・正答数などの数値は公表しませんが、本校の回答状況や提供されたデータを総合して分析・評価した結果を公表します。
- 引き続き、児童ここの回答状況や個々の設問に留意し課題を分析し、児童個々の学習意欲の向上などにつとめていきます。

## 1 調査の概要

実施日 平成27年4月21日（火）

調査対象 小学校6年生（23名）

## 2 調査結果の概要

### ○教科に関する調査

教科	平均正答率の全国との比較	下位層(※)の分布
国語 A	全国平均を上回る	全国より少ない
国語 B	全国平均を上回る	全国より少ない
算数 A	全国平均を上回る	全国より少ない
算数 B	全国平均とほぼ同じ	全国より少ない
理科	全国平均を大きく上回る	全国より少ない

※下位層 得点が全国平均の下位25%に位置するもの

### ○教科の結果について特徴的な点

#### 《国語》

- 国語ABともに読むこと・書くことについては良好であるが、聞くこと・話すことに課題が見られる。
- 漢字の読み書きは良好である
- 国語Bでは文章の要旨をとらえ、要約することは良好である。

## 《算数》

全ての領域で良好な結果ではあるが

- ・算数 A「数と計算」はやや課題が見られる。
- ・算数 Bでは「数量関係」において課題がみられる。

## 《理科》

- ・全ての領域で良好な結果である。

## 《教科全体の所見》

- ・国語・算数・理科ともに引き続き無回答が極めて少ない。B 問題については A 問題に比べ無回答が若干増加する傾向にある。

## ○児童質問紙回答に関する結果

### 《全道・全国に比べ望ましいと思われる傾向》

- ・各教科の学習を「好き」と答えた児童が多い
- ・算数・理科の学習が「将来役に立つ」と考えている児童が多い
- ・教科の学習が「よく分かる」と考えている児童が多い。
- ・「難しいことに挑戦しよう」とする子どもが多い。
- ・「最後までやり遂げて嬉しかった」体験を持つ子どもが非常に多い。
- ・「将来への夢や希望を持っている」子どもが多い。
- ・挨拶など「地域と関わること」に興味関心が強い。
- ・「テレビやビデオ、DVDの視聴時間」が少ない。
- ・「家庭で全ての児童が宿題」をしている。
- ・平日にメディアに費やす時間が少ない。特に携帯電話等の所持はほぼない。

### 《全道・全国に比べ課題と考えられる傾向》

- ・「自分には良いところがある」と考えている子どもの割合が低い。
- ・「友達と協力して物事を達成する」ことを肯定的にとらえる子どもの割合が少ない。
- ・「家庭で計画的に学習している」児童の割合は低い。

## 3 今後の取り組みについて

これまで継続してきた取組が学力向上に結びつきつつあると評価しています。また地域・家庭と連携した取組（規則正しい生活、家庭学習、地域の人に学ぶなど）は学習や生活の構えを作り、素直に努力する態度を向上させていると考えられます。児童質問紙の回答では各教科に対する学習意欲や学習を大切に思う価値観が高まっていることが読みとれます。

また、本校学習常規を徹底することや漢字学習等の継続した取組は、基礎基本の定着に効果を上げていると考えています。

本校がこれまで継続してきた指導を今後もぶれることなく継続していくことが大切であるとと考えています。

今回の調査で明らかになった課題については以下の方策でさらなる向上を目指します。

#### 《国語》

- 他教科や体験的な学習との関連を図りながら、わかりやすく話すことや他の人にわかりやすく伝えるなど学習の仕方を通じた指導の充実を図ります。
- 漢字検定の取組や読書活動の充実など家庭やボランティアとの連携を深めながら読書の質と量の充実を図ります

#### 《算数》

- 児童の理解に応じた教材の活用や空間を意識させる算数的な活動を充実させます。
- 他領域・他教科との連携を図り、基礎的な知識・技能を活用する学習活動を設定します。

#### 《理科》

- 実験や観察など体験的に学ぶ時間を確保します。
- 学んだことを活用し予想したり洞察する機会を確保します
- 学んだことが自分たちに暮らしに生かされていることを知らせ、興味関心を高めます。

#### 《教科共通》

- 家庭と連携し家庭学習の質・量の充実を図ります。どの児童も学年×10分が達成できるよう働きかけます。さらに、児童が自分から計画して学習できるよう支援します。
- 漢字や計算など基本の基本は繰り返し学習を通じて身につけさせます。
- 学校の全ての教育活動を通じて、安心して学び楽しく過ごせる学校となるよう指導の充実に努めます。
- 整った学校環境の整備や豊かな人間関係作りを基盤とした、安心して学べる学校作りに努めます。

## 4 各教科の領域別正答率

このグラフは教科の領域ごとに全国及び北海道の正答率と本校の正答率を比較するものです。外側に位置するほど全国より正答率が高いことを示します。できあがった図形のでこぼこは全国平均と比べた得意・不得意を示しています。

